

国重要無形民俗文化財

お山参詣

さうじやうさうじやう

どろどろさうじやう

おやまさはつだい

こうじやうさうじやう...

五穀豊穰祈願
相馬有志会

参道を上がってお参りする。

山参詣相馬有志会は当JA相馬支所を出発し、岩木山神社を目指した。
で幅広い年齢層が参加し、登山囃が響く中「サイギサイギ」の掛け声とともに村内を練り歩いた。

発。岩場を上り、山頂付近でご来光に向かって手を合わせる。

初日 向山

岩木山神社では、訪れた多くの人たちが

お山参詣は旧暦8月朔日、黄金に輝く稲穂が頭垂れる頃、五穀豊穡と家内安全を祈願して標高1625mの「お岩木様」を目指す。約300年前の江戸時代中期、その当時は8月1日だけは一般の人は山に入ることは許されず、藩主のみが登拝するものだった。一般の人々による現在の参拝は、明治に入ってからだと言われている。

今年は、9月19日の「宵宮」の前に台風18号が非常に強い勢力を保ったまま日本列島を北上。平成3年に甚大な被害をもたらした「りんご台風」と酷似したコト入だったことから、中生種のみならず、主力品種「ふじ」などの収穫を前に不安がよぎった。しかし、昔から親しんでいる「お岩木様」に守られ、今回の台風18号の被害は軽微に留まり、快晴の宵山を迎えた。まさに、日々の農作物に対する想いが天に伝わったと云える。



二日目 宵山

9月19日、白装束に身を包んだおこの日は、子どもからお年寄りま

最終日 朔日山

岩木山の山頂を目指して未明に出